

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名 山善製薬株式会社
住所 大阪市中央区道修町2丁目2番4号
担当部門 山善製薬株式会社 滋賀工場
電話番号 (0748) 36-7121
FAX番号 (0748) 36-6519

整理番号 3018

作成 2022年 5月

【製品名】 オキシドール

【危険有害性の要約】

GHS分類： 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2
目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1
生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分2（呼吸器 中枢神経系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分2（肺）
水生環境急性有害性 区分3

GHSラベル要素：



危険

危険有害性情報

分類の名称： 酸化性物質
有害性： 目、皮膚、粘膜に対して刺激性あり。皮膚に付着すると痛みを感じ、表皮に白斑を生じる。高濃度の場合には水疱を形成する。製品の蒸気は気道を刺激する。
環境影響： 分解して水と酸素になるため、生体への影響はほとんどない。
物理的及び化学的危険性：
過酸化水素自体は燃焼性はないが、分解で酸素を発生し、支燃性を示す。異物が混入すると、過酸化水素の分解が促進され酸素ガス及び熱が急激に発生することがある。特に重金属及びその塩類、アルカリ、還元性物質等の異物に著しい作用がある。密閉容器等では破裂することがある。支燃性がある。2.5~3.5w/v%の過酸化水素水自体は爆発しないが、有機物と混合すると爆発組成物を生成することがある。
特定の危険有害性： 容器の破裂危険性

【組成および成分情報】

単一製品・混合物の区別： 単一製品
化学名又は一般名： 過酸化水素 HYDROGEN PEROXIDE
別名： 過酸化水素水
成分及び含有量： 過酸化水素の2.5~3.5w/v%水溶液
化学特性（化学式等）： H_2O_2
官報公示整理番号： 化審法、安衛法；(1)-419
CAS番号： 7722-84-1

【応急措置】

眼に入った場合： 直ちに流水で少なくとも15分間以上洗眼し、医師（眼科医）の診断を受ける。洗淨が遅れたり不十分だと眼の障害を生ずる恐れがある。
皮膚に付着した場合： 衣服・靴等が汚染されている場合は直ちに脱ぎ、流水で皮膚を十分に洗淨する。症状により、医師の診断を受ける。
吸入した場合： 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合： 水またはミルクを飲ませ、速やかに医師の診断を受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
最も重要な兆候及び
症状に関する簡潔な情報： 接触した表皮に、刺すような痛みを伴う白斑を生じる。
応急措置をする者の保護： 救助者が製品に触れないようゴム手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項： 製品が目に入った場合直ぐには異常を感じなくても、しばらく時間が経った後に影響が出る場合がある。

【火災時の措置】

- 消火剤 : 一般火災の場合は消火剤として水を用いるが、大量の有機溶剤や油類が混在する場合は、泡、粉末あるいは二酸化炭素等の消火剤を使用する。
- 火災時の特定危険有害性 : 過酸化水素自体は燃焼しないが、分解により発生する酸素ガスが周囲の可燃物の燃焼を助け、火災を激しくするので注意が必要である（支燃性がある）。
- 特定の消火方法 : 火災の周辺にある過酸化水素の入った容器は、速やかに安全な場所に移動させる。移動できない場合は散水冷却する。
- 消火をする者の保護 : 消火作業は、保護具を着用し、風上から行う。製品の蒸気やミストを吸入する可能性がある場合、空気呼吸器等の呼吸用保護具を着用する。注水に当たっては安全な距離を確保し、遮蔽物を利用する。また放水銃などを利用し無人化を図る。
-

【漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項 : 状況に応じロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
作業は必ず保護具を着用し、風上から実施する。
- 環境に対する注意事項 : 水棲生物等に有害であり、河川等への流出は避ける。
- 除去方法
- 少量の場合 : 大量の水で充分希釈して洗い流す。
- 多量の場合 : 土砂等で流れを止め、拡散を防止すると共に、安全な場所に導き、濃厚な液が河川などに流れ込まないようにしてから、自然分解させ、大量の水で充分希釈し、廃棄上の注意に従って処分する。
- 二次災害の防止策 : 漏出液は決して元の容器に回収しない。
周囲の木、布等の可燃物とは接触させない。もし接触した場合は、大量の水で充分洗い流す。
-

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所には安全シャワー、洗眼設備を設置し、その位置を明示する。大気への開放部分が少ない装置・機械または局所排気装置を使用する。配管により取り扱う場合には、過酸化水素を密閉状態としてはならない。過酸化水素の飛散、漏洩等の防止措置をとる。過酸化水素を取り扱う容器、配管等には適切な材質を使用する。
- 注意事項 : 使用場所でみだりに火気を使用しない。
使用場所の付近には可燃物、引火物を置かない。
一旦容器から出した過酸化水素は、元の容器に戻さない。
過酸化水素の付着した木、紙、布等の可燃物は、水で十分に洗う。
異物（酸、アルカリ、重金属、有機物、ゴミ等）の混入を避ける。
みだりに蒸気、ミストが発生しないように取扱う。
- 安全取扱い注意事項 : 接触、吸入防止のための保護具を着用する。
取扱い後は、手洗い、洗顔等を十分に行う。

保管

- 適切な保管条件 : 異物が容器に混入しないようにする。
: 容器には通気孔付の蓋を使用し（タンクの場合にはベント管を設け）、完全密封の状態にしない。
可燃物や過酸化水素の分解を促進する物質と、混合貯蔵してはならない。
保管場所には水道などを設備し、過酸化水素に関わる事故が発生した場合、容易に洗い流せるようにする。
通風の良い場所に保管し、過酸化水素が高温にならないようにする（直射日光を避け、冷暗所に保管することが望ましい）。
保管場所には施錠等をする。
- 安全な容器包装材料 : 取扱い及び保管にあたり、過酸化水素の分解を促進する材質を使用してはならない。
適切な材質 : 金属) アルミニウム、ステンレス鋼 (SUS304、SUS316)
樹脂) フッ素樹脂
不適な材質 : 金属) 鉄、銅、銅合金、ニッケル・モリブデン合金 (商品名 : ハステロイテロイ)、チタン、チタン合金など
樹脂) ナイロン、ポリブタジエン、エポキシ樹脂、天然ゴム
貯蔵タンク等の設備材質は、純度 99.5%以上のアルミニウム (A1070) またはアルミニウム合金 (A5052、A5254) が使用できる。金属材料の場合は、接液表面の不活性化処理を行う。

【暴露防止措置】

設備対策	: 取扱い場所には安全シャワー、洗眼設備を設置し、その位置を明示する。 取扱いについては、大気への開放部分が少ない装置・機械または局所排気装置を使用する。
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日産衛(06年)	: 設定されていない。
ACGIH(07年)	: 時間加重平均暴露限界(TLV-TWA) 1 ppm : 短時間暴露限界(TLV-STEL) 設定されていない。
保護具	
呼吸器用の保護具	: 蒸気やミストを吸入する可能性がある場合、空気呼吸器か、または簡易保護マスク(蒸気には効かない)
手の保護具	: ゴム手袋
目の保護具	: 保護眼鏡/ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 作業衣、安全帽(ヘルメット)、安全靴/ゴム長靴、ゴム前掛け 但し天然皮革製保護具を使用してはならない。

【物理/化学的性質】

物理的状态	
形状	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: においはないか、または弱い特有のにおい
pH	: 2.5~3.5(35%過酸化水素水)
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	: 108°C(35%過酸化水素水)
凝固点	: -33.0°C(35%過酸化水素水)
引火点	: なし(過酸化水素自体は燃焼しないが、分解すると酸素ガス及び熱を発生し、支燃性を示す。)
発火点	: なし(過酸化水素自体は燃焼しないが、分解すると酸素ガス及び熱を発生し、支燃性を示す。)
爆発特性	: なし(蒸気が空気と混ぜても爆発しない。)
蒸気圧	: 3.07kPa(30°C)(35%過酸化水素水)
比重	: 1.13(20/4°C)(35%過酸化水素水)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水と自由な割合で溶け合う。
その他のデータ	
粘度	: 1.11mPa·s(20°C)(35%過酸化水素水)

【危険性情報(安定性・反応性)】

安全性	: 異物(重金属、アルカリ、酸化され易い有機物等)が混入しない限り非常に安定である。 分解すると水と酸素ガスになり、この時98.05kJ/mol-H ₂ O ₂ の熱を発生する。 加熱すると分解が促進される(温度が10°C上昇すると、分解速度は約2.2倍速くなる)。
反応性	: 種々の無機化合物を酸化し、有機化合物に対しても酸化作用がある。 白金、銀、銅、鉄、クロム、マンガン等と接触すると、急激に分解して酸素ガス及び熱を発生し、密閉容器では破裂することがある。
避けるべき条件	: 加熱、異物(重金属、アルカリ、酸化され易い有機物等)の混入
避けるべき材料	: 重金属、アルカリ、酸化され易い有機物等 鉄、銅、銅合金、チタン、チタン合金、ハステロイ系合金、ポリアミド(ナイロン)、ポリブタジエン、エポキシ樹脂、天然ゴム、アスベスト成形材料等
危険有害な分解生成物	: 酸素ガス(支燃性がある)

【有害性情報】

急性毒性	
経口ラットLD ₅₀	: 1,518mg-H ₂ O ₂ /kg 雄ラット(WISTAR-JCL)(9.6%H ₂ O ₂ 使用時)
経口ラットLD ₅₀	: 805mg-70%H ₂ O ₂ /kg 雄・雌ラット(CrI:CD BR)(70%H ₂ O ₂ 使用時)
局所効果	
刺激性(皮膚、眼)	: 皮膚・粘膜に対し刺激性あり。眼に入ると失明の恐れあり。
亜急性毒性	: 雄ラット(WISTAR)経口60mg-H ₂ O ₂ /kg/日投与時、20日後より発育抑制が認められた。 (0.6wt/vol% H ₂ O ₂ 使用時) 雄ラット(WISTAR-JCL)経口56.2mg-H ₂ O ₂ /kgを、6日/週で12週間投与時無影響。 (5wt/vol% H ₂ O ₂ 使用時)

発がん性	: マウス (C57BL) に、H ₂ O ₂ を含む飲料水を 740 日間投与。十二指腸にがんの発生例あり。 (飲料水中の H ₂ O ₂ 濃度は 0.1 及び 0.4%) ラット (FISHER F344) に H ₂ O ₂ を含む飲料水を 78 週間投与。がん原性認められず。 (飲料水中の H ₂ O ₂ 濃度は 0.3 及び 0.6%)
IARC (’99 年)	: グループ 3 (ヒトに対する発がん性について分類できない)
ACGIH (’07 年)	: A3 (動物に発がん性を示す物質) (作業者への曝露に関連させるには適切とは考えられない条件 [比較的高用量、投与経路、発生部位、組織学的種類、機構] で、実験動物に発がん性を示すもの。入手可能な疫学的研究では、曝露したヒトでの発がんリスクの増大が確認されていない。入手可能な証拠によれば、曝露経路や量が普通でない、もしくはありそうもない場合を除き、ヒトにがんを起こすとは考えられないことが示唆されている。)
変異原性	: サルモネラ TYPHIMURIUM 菌に対し、弱い変異原物質である。
生殖毒性	: 知見なし

【環境影響情報】

残留性/分解性	: 知見なし (自然分解性あり。)
生体蓄積性	: 知見なし
生態毒性	
魚毒性	
	(海水魚): アイゴ 24 時間 LC ₅₀ =224mg-H ₂ O ₂ /L シマハセ 24 時間 LC ₅₀ =155mg-H ₂ O ₂ /L マヅ 24 時間 LC ₅₀ = 89mg-H ₂ O ₂ /L
	(淡水魚): 鯉 48 時間 LC ₅₀ = 42mg-H ₂ O ₂ /L

【廃棄上の注意】

残余廃棄物	: 大量の水で希釈し、排水する。
汚染容器・包装	: 残留物、付着物を水で希釈し、洗浄除去後、処分する。 製品が残存している容器に異物が混入すると、異常分解につながる恐れがある。汚染容器、包装は水でよく洗浄した後、自治体の規定に従い廃棄処分する。

【輸送上の注意】

国際規制	該当しない
国内規則	
1. 陸上輸送	特段の規制なし
2. 海上輸送	特段の規制なし
3. 航空輸送	特段の規制なし
特別の安全対策	輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損などのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。転倒、衝撃などを生じないように固定する。

【適用法令】

消防法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき有害物質 (法第 57 条 1、施行令第 18 条第 6 号の 2) 名称等を通知すべき有害物質 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
毒物及び劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当

【その他】

本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。

記載内容の問合せ先

山善製薬株式会社
 大阪府中央区道修町 2 丁目 2 番 4 号
 担当部門 山善製薬株式会社 学術室
 電話番号 06-6231-1821
 FAX 06-6231-1824